



Workload Optimization Manager 3.2.1.2 リリースノート

2021 年 12 月 22 日

このドキュメントでは、Workload Optimization Manager 3.2.1.2、リリース日：2021 年 12 月 22 日で対応した問題について説明します。3.0 バージョンファミリ以降、ビルドは累積的です。以前のバージョンのリリースノートについては、Workload Optimization Manager のドキュメントを参照してください。

ご不明な点は、サポート担当者にお問い合わせください。

注：

このリリースでは次の問題が修正されており、これらのリリースノートにはそれらの修正のみが記載されています。一般的なリリース情報については、Workload Optimization Manager バージョン 3.2.1 のリリースノートを参照してください。3.2.1 リリースノートには、新機能、設定の問題、およびこのリリースに関連する既知の問題のセクションが含まれています。Workload Optimization Manager バージョン 3.2.1 のその他の増分リリースについては、3.2.1.1 のリリースノートを参照してください。

改善点

■ 改善点：

オプションで、ゲスト OS ファイルシステムの検出と監視を無効にすることができます。

一部の環境では、セキュリティ スキャン ソフトウェアが多数の一時ゲスト OS ファイルシステムを作成することがあります。これが発生すると、Workload Optimization Manager のパフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。このリリース以降、環境内のゲスト OS ファイルシステム (vStorage) の検出と監視を無効にできます。

サポートについては、サポート担当者にお問い合わせください。

修正済みの問題

■ 修正済みの問題：

大規模な Azure 環境では、検出が Java 中断エラーで失敗する可能性があります。

大規模な Azure 環境では、検出が `java.lang.InterruptedExceptio` エラーで失敗する可能性があります。これは、Azure プローブがメモリを実行しているときに発生する可能性があります。プローブは、メモリ使用率を改善する必要があります。

セキュリティの問題

シスコでは、エンタープライズ アプリケーションのパフォーマンス管理において Workload Optimization Manager があらゆる点で信頼できる製品であることを保証するために最善を尽くしています。安全な製品を提供することは、その信頼を得るために重要です。当社の製品は最高のセキュリティ基準を満たしていることが義務付けられているため、安心して展開していただけます。このセクションでは、当社が特定および修正した脆弱性をリストします。

潜在的なセキュリティの脆弱性を特定した場合は、できるだけ早くテクニカルサポートの担当者に報告してください。

■ 修正済みの問題：

セキュリティ更新：log4j2 バージョン

このリリースでは、次の問題に対処するために使用する log4j2 のバージョンが更新されています。

- CVE-2021-45105

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。